

ORACLE
Red Bull 
RACING

RB19

MAX VERSTAPPEN

オラクル・レッドブル・レーシング RB19 (マックス・フェルスタッペン)

PACK
8




De Agostini
COLLECTIBLES

ORACLE
Red Bull 
RACING

ORACLE
Red Bull
RACING

RB19

MAX VERSTAPPEN

オラクル・レッドブル・レーシング RB19 (マックス・フェルスタッペン)

CONTENTS

STAGE 31

フロントコンパートメントボディワーク (1) 119

STAGE 32

フロントコンパートメントボディワーク (2) 123

STAGE 33

フロントコンパートメントボディワーク (3) 127

STAGE 34

フロントコンパートメントボディワーク (4) 131

STAGE 35

ステアリングホイール 135



フロントコンパートメントボディワーク(1)

本ステージでは、フロントハロサポートと外部ボタン取付プレートを
フロントコンパートメントボディワークに取り付ける。

今号のパーツ



※パーツリスト画像にはネジの予備数は含まれていません。

※モデルの設計上、実際のパーツの形状が画像イメージとは異なる場合があります。

31A フロントコンパートメントボディワーク

A ネジ 2.3 mm × 4 mm (1本+予備)

31B 外部ボタン取付プレート

STEP 31-1

ステージ28で保管した
28Bフロントハロサポート
を用意し、**31A**フロント
コンパートメントボデ
ィワークの中央に配置
する。



STEP 31-2

28Bフロントハロサポート
を押さえながらパーツを裏
返し、**28B**フロントハロサポ
ートを**A**ネジで**31A**フロント
コンパートメントボディワ
ークに固定する。



STEP 31-3

31B 外部ボタン取付プレートを**31A** フロントコンパートメントボディワークの図の3つの穴の上に取り付ける。

詳細図を参照し、パーツの向きが正しいことを確認する。



正しい姿勢について

適切な姿勢を保つことは、快適性を高めるだけでなく、作業への集中力を維持し、体への負担なく模型製作を楽しむことにつながる。座って作業する場合、作業面の高さは肘の高さと同じか、やや低めに設定するのが理想的である。背筋を伸ばし、足の裏を床にしっかりとつけ、膝が90度になる姿勢を意識する。また、首を前に突き出さないよう、組み立て中のパーツは体に近い位置に置くこと。可動式のデスクライトやライト付きルーペを使用すると、前かがみになることなく細部を確認でき、より快適に作業を行うことができる。

完成



本ステージの組み立てが完了すると
図のようになる。

フロントコンパートメントボディワーク(2)

本ステージでは、右フロントエアインテークを
フロントコンパートメントボディワークに取り付ける。

今号のパーツ



※パーツリスト画像にはネジの予備数は含まれていません。
※モデルの設計上、実際のパーツの形状が画像イメージとは異なる場合があります。

32A 右フロントエアインテーク (外側)

32B 右フロントエアインテーク (内側)

32C フロントコンパートメントサポート

A ネジ 2.3 mm × 4 mm (2本+予備)

STEP 32-1

32B右フロントエアインテーク（内側）を**32A**右フロントエアインテーク（外側）に取り付ける。



STEP 32-2

ステージ**31**で組み立てた**31A**フロントコンパートメントボディワークを用意し、**32A**右フロントエアインテーク（外側）の突起を**31A**フロントコンパートメントボディワークの右側にある2つの穴にはめ込む。



STEP 32-3

右フロントエアインテークを押さえながら、**A**ネジ2本で**31A**フロントコンパートメントボディワークに固定する。



モデラーに欠かせない工具

熟練モデラーが使用する便利な工具のひとつに、磁気ドライバーがある。

これは、ネジを部品にねじ込む際に、ネジを先端に保持したまま作業できる工具である。

完成



32C フロントコンパートメントサポートは、後の組み立てで使用するので保管しておく。

フロントコンパートメントボディワーク(3)

本ステージでは、左フロントエアインテークとステアリングシステムプレートを
フロントコンパートメントボディワークに取り付け、
その後、サバイバルセルフロントストラクチャーに接続する。

今号のパーツ



※パーツリスト画像にはネジの予備数は含まれていません。

※モデルの設計上、実際のパーツの形状が画像イメージとは異なる場合があります。

33A 左フロントエアインテーク (外側)

33B 左フロントエアインテーク (内側)

33C ステアリングシステムプレート

A ネジ 2.3 mm × 4 mm (6本+予備)



STEP 33-1

33B左フロントエアインテーク（内側）を**33A**左フロントエアインテーク（外側）に取り付ける。

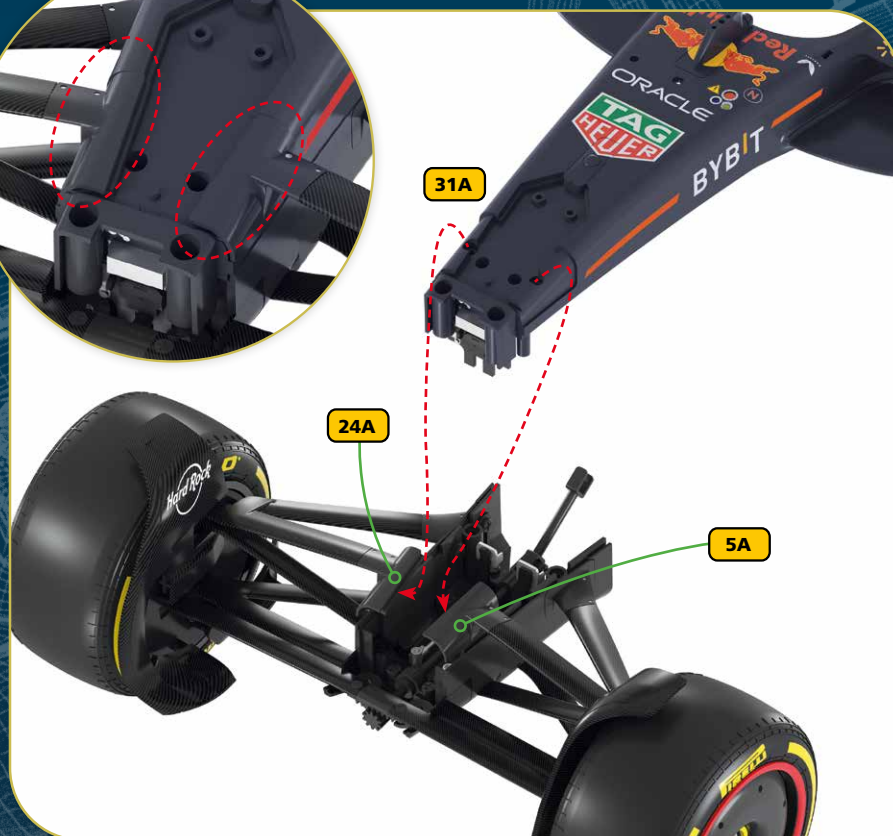
STEP 33-2

ステージ**32**で組み立てた**31A**フロントコンパートメントボディワークを用意し、**33A**左フロントエアインテーク（外側）の突起を**31A**フロントコンパートメントボディワークの左側にある2つの穴にはめ込み、**A**ネジ2本で固定する。



STEP 33-3

31A フロントコンパートメントボディワークを裏返し、**33C** ステアリングシステムプレートを前部の図の溝に差し込む。

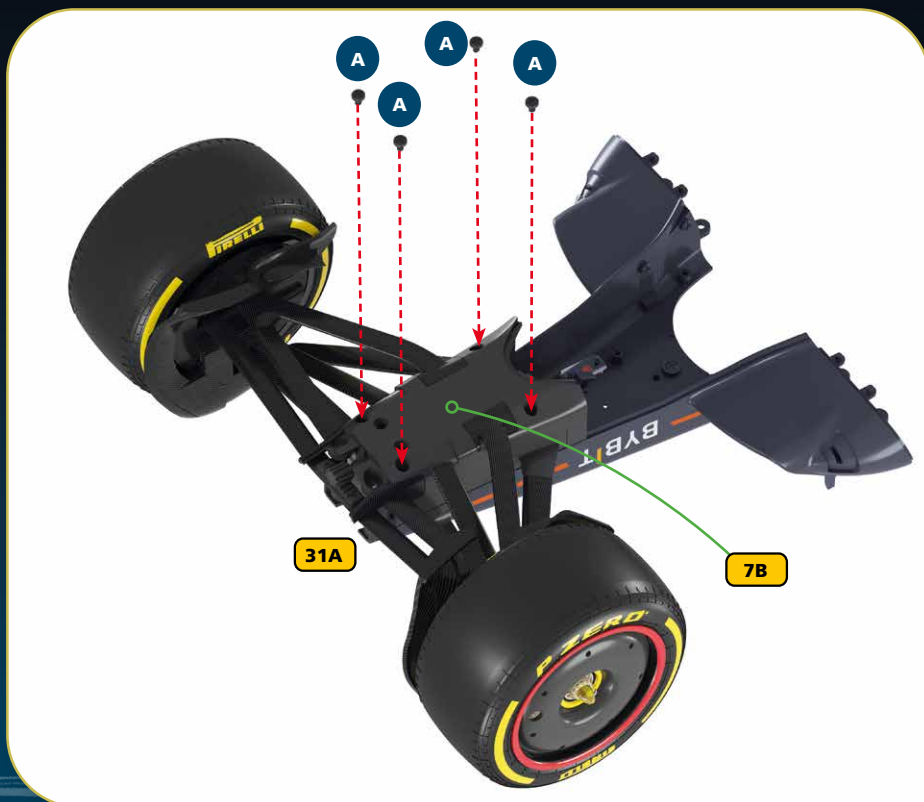


STEP 33-4

ステージ30で組み立てたフロントサスペンションパーツを用意し、**31A** フロントコンパートメントボディワークの前部を、**5A** 左フロントサスペンション上部アームと **24A** 右フロントサスペンション上部アームの未接続の端部の下に配置する。

STEP 33-5

パーツを裏返し、**31A** フロントコンパートメントボディワークを**A**ネジ4本で**7B** サバイバルセルフロントストラクチャーに固定する。



完成

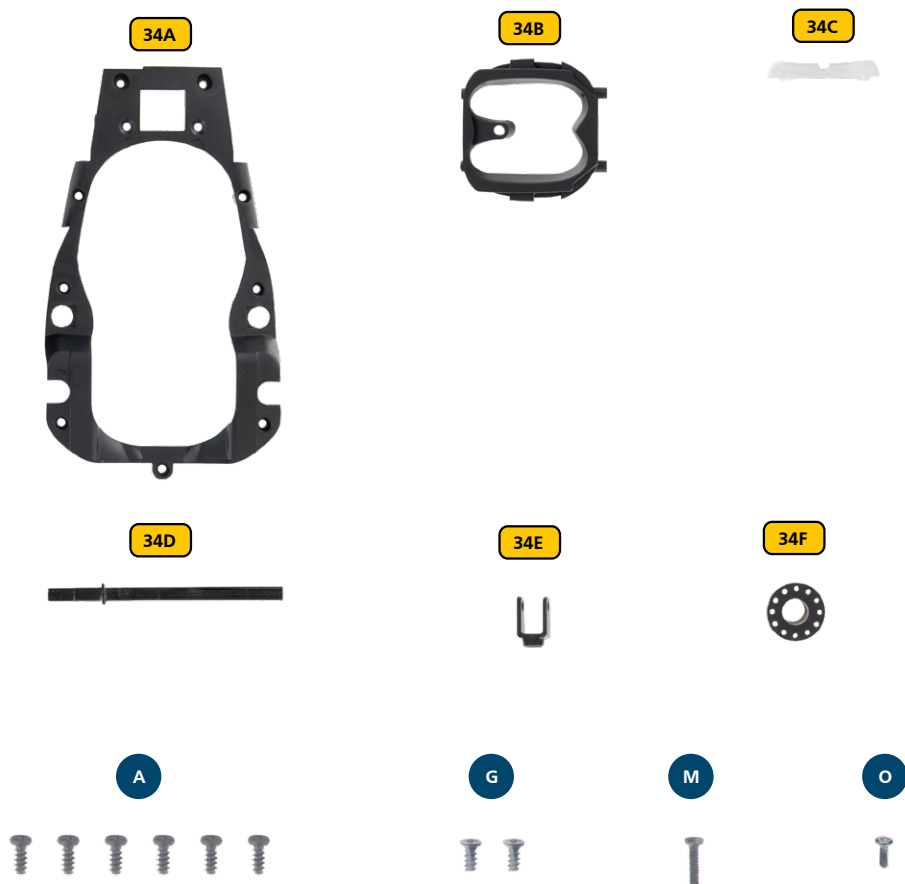


本ステージの組み立てが完了すると図のようになる。

フロントコンパートメントボディワーク(4)

本ステージでは、ステアリングシャフト、ウィンドシールド、コンパートメントフレーム、フロントコンパートメントサポートをフロントコンパートメントボディワークに取り付ける。

今号のパーツ



※パーツリスト画像にはネジの予備数は含まれていません。

※モデルの設計上、実際のパーツの形状が画像イメージとは異なる場合があります。

34A コンパートメント上部フレーム

34B コンパートメント下部フレーム

34C ウィンドシールド

34D ステアリングシャフト (1)

34E ステアリングフォーク (1)

34F ステアリングホイールシール

A ネジ 2.3 mm × 4 mm (6本+予備)

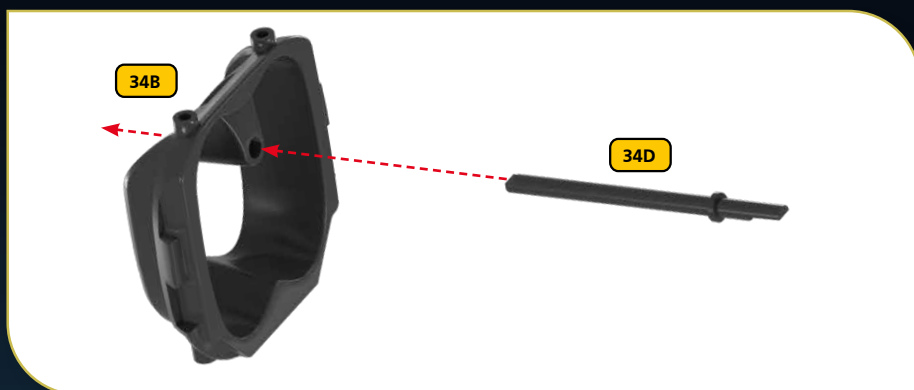
G ネジ 2.0 mm × 4 mm (2本+予備)

M ネジ 2.0 mm × 7 mm (1本+予備)

O ネジ 1.5 mm × 4 mm (1本+予備)

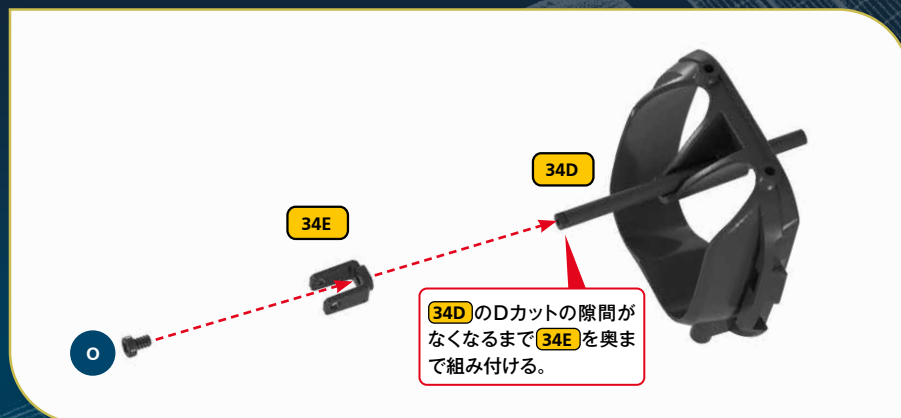
STEP 34-1

34Dステアリングシャフト(1)を**34B**コンパートメント下部フレームの図の穴に通す。



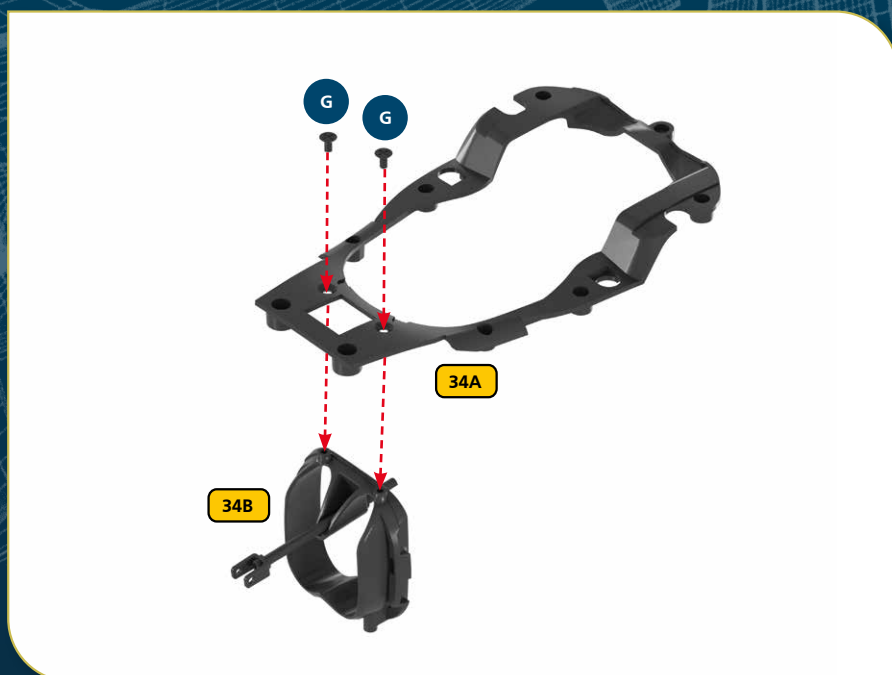
STEP 34-2

34Eステアリングフォーク(1)を**34D**ステアリングシャフト(1)の図で示した方の端部に取り付け、**○**ネジで固定する。



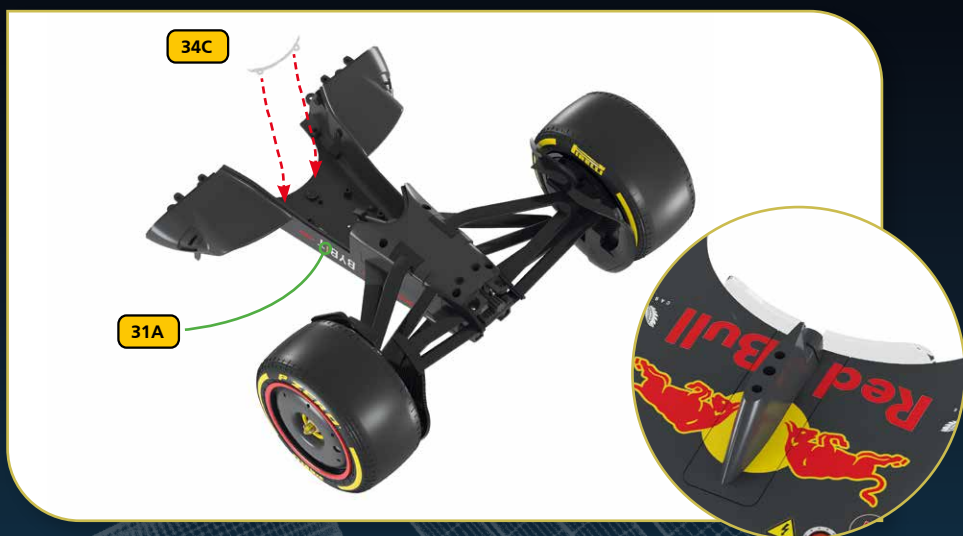
STEP 34-3

図のように、**34A**コンパートメント上部フレームを**34B**コンパートメント下部フレームに取り付け、**G**ネジ2本で固定する。



STEP 34-4

ステージ33で組み立てたフロント構造を用意し、**34C** ウインドシールドを**31A** フロントコンパートメントボディワークの図の2つの突起に取り付ける。

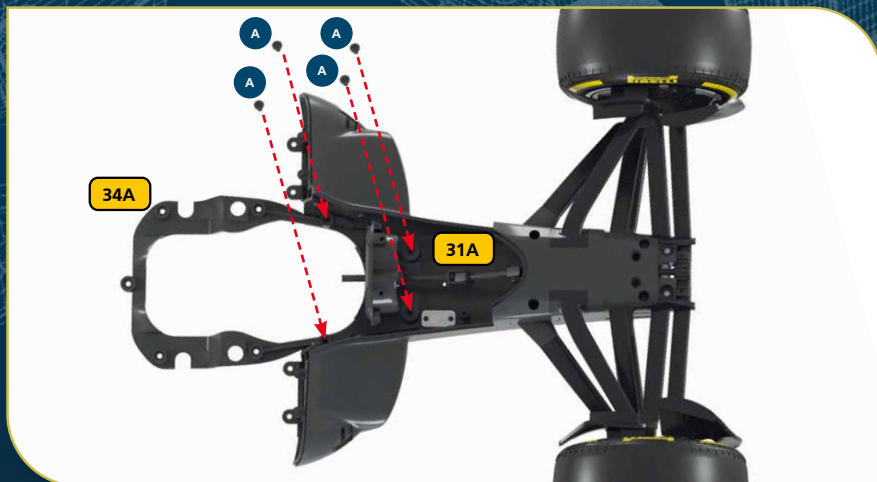


STEP 34-5

34A コンパートメント上部フレームを**31A** フロントコンパートメントボディワークに配置する。このとき、**34E** ステアリングフォーク(1)が**21B** ステアリングコラムに接続可能な位置にあることを確認する。

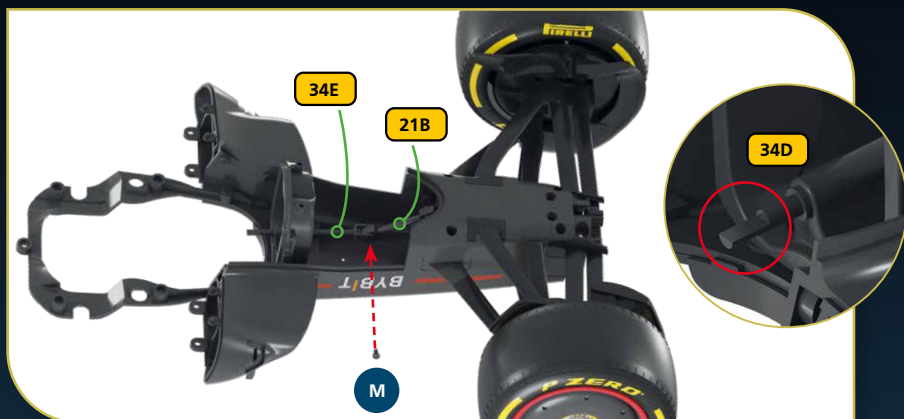
STEP 34-6

34A コンパートメント上部フレームを**A** ネジ4本で**31A** フロントコンパートメントボディワークに固定する。



STEP 34-7

34Eステアリングフォーク(1)を**M**ネジで**21B**ステアリングコラムに固定する。タイヤが真直ぐな状態の時に、**34E**ステアリングフォーク(1)の平らな端部の向きが詳細図で示した向きになっていることを確認する。



STEP 34-8

ステージ**32**で保管した**32C**フロントコンパートメントサポートを用意し、**31A**フロントコンパートメントボディワークの図の2つの穴の上に配置し、**A**ネジ2本で固定する。



完成

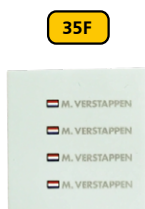
34Fステアリングホイールシールは、後の組み立てで使用するので保管しておく。



ステアリングホイール

本ステージでは、ステアリングホイールパーツを取り付け、
フロントプレートをフロントコンパートメントボディワークに配置する。

今号のパーツ



※パーツリスト画像にはネジの予備数は含まれていません。
※モデルの設計上、実際のパーツの形状が画像イメージとは異なる場合があります。

35A ステアリングホイール

35B ステアリングホイールカム

35C ディスプレイスクリーン

35D フロントプレート

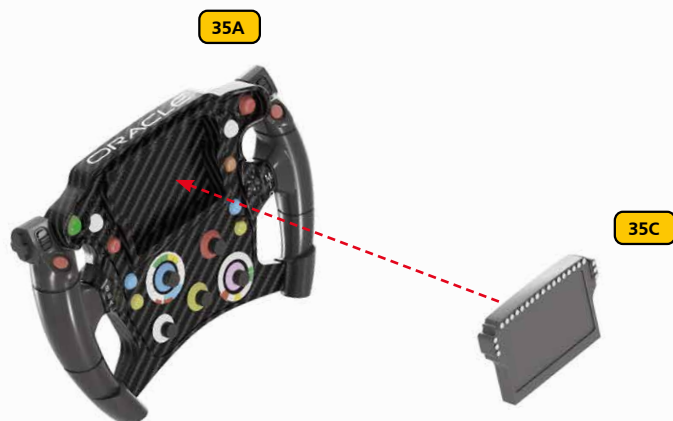
35E ステアリングホイールブラケット

35F ドライバー名ステッカー (M.フェルスタッペン)

P ネジ 2.0 mm × 4 mm (2本+予備)

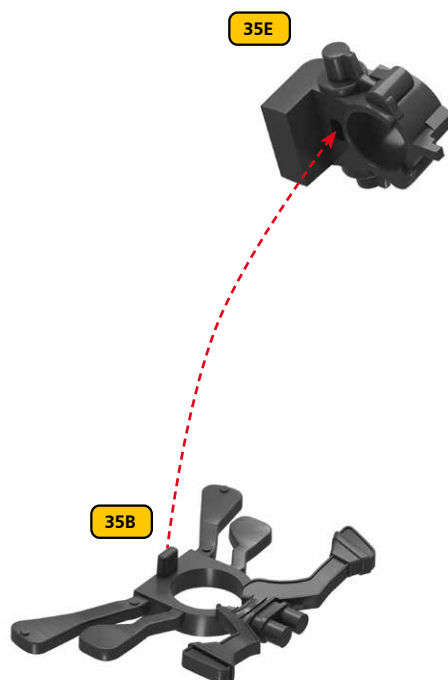
STEP 35-1

35Cディスプレイスクリーンを**35A**ステアリングホイールの中央に取り付ける。



STEP 35-2

35Bステアリングホイールカムの図の突起を、**35E**ステアリングホイールブラケットの後部の穴に差し込む。



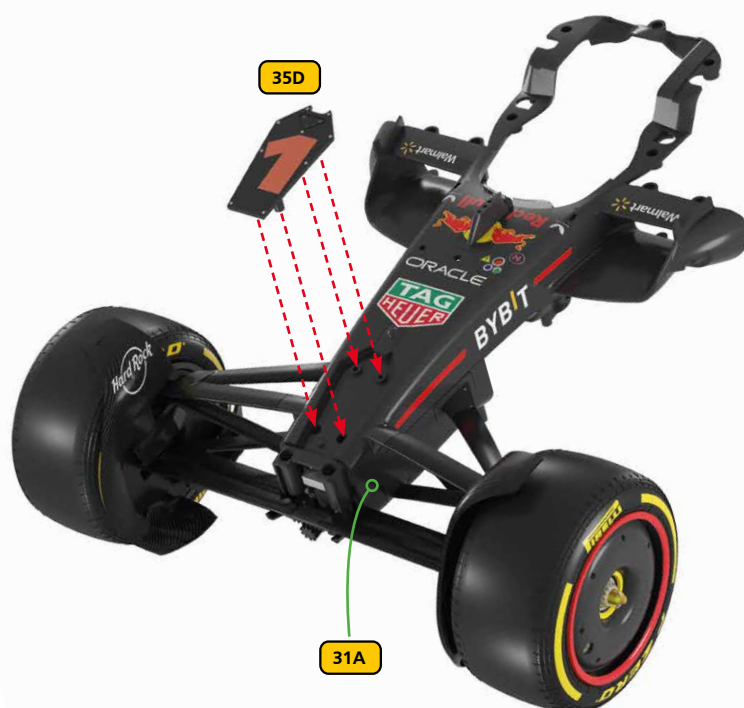
STEP 35-3

組み立てたパーツを**35A**ステアリングホイールの後部にある円筒部に差し込む。



STEP 35-4

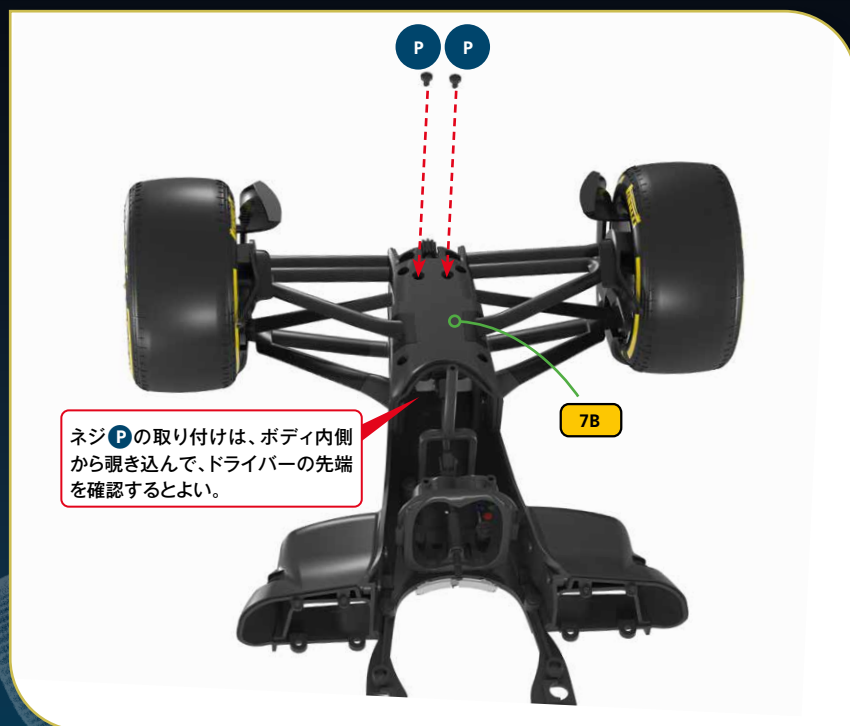
ステージ**34**で組み立てたサバイバルセルのフロント構造を用意し、**35D**フロントプレートと**31A**フロントコンパートメントボディワークに配置する。



STEP 35-5

35Dフロントプレートを押さえながらパーツを慎重に裏返し、**35D**フロントプレートを**P**ネジ2本で**7B**サバイバルセルフロントストラクチャーに固定する。

ネジ**P**の取り付けは、125ページのコラムを参照する。



完成



35Fドライバー名ステッカー (M.フェルス タッペン) は、後の組み立てで使用するので保管しておく。